課題整理総括表

嚻

利用者名

作成日

9 ※

生活全般の解決すべき課題 (ニーズ) [案] 利用者及び家族の 生活に対する意向 ے 熈 民 備考(状況·支援内容等) <u>ල</u> **6** 改善/維持の可能性※4 悪化 維持 改職 改職 改善 改善 改職 改 改善 改職 改善 改善 改 改善 改善 改善 改善 改職 改善 改善 改蕃 改職 改善 改 改職 改善 要因※3 (0) **(D)** 全介助 支障あり 支障あり 支障あり 支障あり 支障あり 支障あり 支障あり 支障あり 支障あり 一部介助 一部介助 一部介助 一部介助 一部介財 支障あり 一部介助 一部介助 一部个野 一部介助 一部介助 一部介助 一部介助 一部个野 一部介助 現在 支障なし 支障なし 支障なし 支障なし 支障なし 支障なし 見守り 自立 4 自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等) 行動·心理症状(BPSD) 状況の事実 ※1 コミュニケーション能力 介護力(家族関係含む) 排尿·排便 室内移動 屋外移動 食事内容 食事摂取 排泄動作 口腔衛生 口腔ケア 整理・物品の管理 梅瘡・皮膚の問題 社会との関わり 調理 金銭管理 居住環境 移動 ス浴 更衣 掃除 洗濯 食事 井井 뢦 ㅁ 服薬 買物

^{※1} 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報の集・分布を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。

^{※2} 介護支援専門員が収集した子祭殿の事実を記載する。選択故この日を記入。 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「芝師なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、構式上部の「要因」相から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。 ※4 今回の原定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択故にの印を記入する。

^{※5 「}東因」および「改善/植林の司能性」を踏また。<u>重四を輸送するための援助の報と</u>、それが提供されることによって見込まれる事態のな況(目標)を指する。
※6 本計画期間に取り上げることが困難な課題には「一、
※6 本計画期間に取り上げることが困難な課題には「一」
※6 本計画期間に取り上げることが困難な課題には「一」
前を記り、ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「一」